



市民の皆さん、

節目の年を素晴らしい年にしましょう

この春、伊万里市は

市制施行60周年を迎えました

● 問合せ 秘書課 (☎0233390)

昭和29年に合併して誕生

昭和29年4月1日に、2町7村の合併により誕生した伊万里市は、市制施行60周年を迎えました。

中核都市として

着実な発展を遂げる

世界に名を馳せた『古伊万里』の積出港として栄え、陶磁文化や歴史に彩られた本市は、伊万里湾に大規模な工業団地を造成し、現在では、多くの企業が立地しています。また、コンテナターミナルや伊万里湾大橋などの国際交易基地としての整備や、西九州自動車道などの道路整備、市街地の区画整理事業などが進み、西九州北部の中核都市としての機能と風格を備え、着実な発展を遂げてきています。



伊万里市制60周年

記念の年を

さまざまな事業でお祝い

市民の皆さんが、60年の歩み振り返り、そして、これからの新しい伊万里市づくりを考え、さらには、郷土への自信と誇りを持つ契機となるよう、11月に記念式典を行うほか、今後さまざまな事業を実施していきます。

次なる飛躍への

起点の年に

今に生きる私たちは、美しい自然に抱かれ、素晴らしい歴史を築いてきた本市を、しっかりと次代へと引き継いでいく責務があります。幾多の困難を乗り越え、発展してきた今日の伊万里市を、先人への感謝の意を込めて市民の皆さんと祝うとともに、この節目の年を、次なる飛躍に向けた起点の年と位置付けています。

市制施行60周年記念(冠)事業

事業名	実施時期(予定)
市制施行60周年記念ロゴ入り偽造防止用紙による市の諸証明書発行	4月
日本プロ野球OBクラブ 全国少年少女野球教室	5月11日(日)
プロ野球ウエスタンリーグ 伊万里大会	8月30日(土)
おいしい水ペットボトル製造	9月
NHK公開番組 『俳句王国がゆく』公開録画	11月15日(土)
食のまちづくりフォーラム	平成27年2月

※市長改選の年で骨格予算であるため、一部の事業のみを紹介



西九州自動車道イメージ写真



4月から運用を開始

高機能消防指令システムを整備

消防本部では、高齢化に伴う救急件数の増加や、情報通信の高度化などに対応するため、『高機能消防指令システム』を整備し、4月から運用を開始しました。

● 問合せ 通信指令室 (☎ 2119)

システムと無線を

新たに整備

4月1日から伊万里市、有田町の消防広域化を図るため、両市町で構成する『伊万里・有田消防本部』がスタートしたことや、消防無線のデジタル化に合わせるため、新しく『通信指令システム』と『消防救急デジタル無線』を整備しました。

初動体制などが

飛躍的に向上

『通信指令システム』は、最新の設備機器で構成されていて、119番通報を受信してから発信位置の特定までの時間との確率が大幅に改善されます。また、同時に消防車や救急車への出動指令を自動的に行うことで、初動体制の迅速性と確実性が格段に向上し



↑今回整備した高機能消防指令システムです。皆さんのより安心して安全な暮らしのため、今後役立てていきます

ます。さらに、車両に積載した動態管理装置により、出動隊の位置情報などを把握することで、部隊の統制管理や支援情報などの伝達がスムーズに進められ、的確な現場活動と活動支援ができるようになりました。

通報で大事なことは『落ちつき』と『正確さ』

119番通報こうすれば大丈夫

火事や救急の場合は、119番通報をお願いします。

しかし、いざ通報をしなければいけない状況に直面すると、あわてたり、頭が混乱したりして、正確に通報できないことがあります。

ここでは、どのようにすれば正確に伝わるかなど、通報の方法について紹介します。

● 問合せ 通信指令室 (☎ 2119)

■ 通報要領

あわてないで119

火事の場合は、「火事です」、救急の場合は、「救急です」と伝えましょう。

かわいい住所

『○○町○○番地』のように、番地までできるだけ詳細に伝えましょう。

近くにある目標物

町名や番地、目標物を書いて電話のそばに貼っておくことも方法のひとつです。

かわいい状態

火事の場合は、『何が燃えているか』を、救急の場合は、『誰がどうした(ケガや病気)か』を、まず伝えましょう。

あなたの名前

あなたの電話番号



後期高齢者医療制度

改定します！平成 26・27 年度の 保険料率

■問合先 長寿社会課医療保険係 (☎2153)

後期高齢者医療制度では、法律により、2年ごとに保険料率を見直しています。今回、1人当たりの医療費の増加などを考慮し、下記のとおり平成 26・27 年度の保険料率を改定しました。皆さんに納めていただく保険料が大切な財源になりますので、ご理解のうえ、納入してください。

	平成 24・25 年度保険料 (年額)	平成 26・27 年度保険料 (年額)
均等割額	49,500 円	51,800 円
所得割率	9.6 割	9.88 割
年間保険料限度額	55 万円	57 万円
1 人当たりの平均保険料 (軽減適用後)	56,898 円 (月額 4,742 円)	57,846 円 (月額 4,821 円)

保険料の計算方法 (平成 26・27 年度分)

保険料は、被保険者 1 人当たりいくらかと決める『均等割額』と、被保険者の所得に応じて決める『所得割額』を合計した額 (限度額 57 万円) です。



保険料が軽減される場合

所得などに応じて、以下のような軽減措置が設けられています。軽減を受けるために、改めて手続きする必要はありません。

● 所得の低い人などへの保険料の軽減 (対象者が拡大されました)

均等割額

世帯内の後期高齢者医療制度の被保険者全員と世帯主の総所得金額などの合計額が、次の場合には、均等割額が軽減されます。

『基礎控除 (33 万円)』を超えず、かつ被保険者全員の年金収入が 80 万円以下の世帯



9 割軽減

均等割額 **5,100 円**

『基礎控除 (33 万円)』を超えない世帯



8.5 割軽減

均等割額 **7,700 円**

『基礎控除 (33 万円) + 24.5 万円 × 被保険者数』を超えない世帯



5 割軽減

均等割額 **25,900 円**

『基礎控除 (33 万円) + 45 万円 × 被保険者数』を超えない世帯



2 割軽減

均等割額 **41,400 円**

所得割額

所得割を負担する人で、賦課の基となる所得金額 (基礎控除後の総所得金額など) が、次の場合には、所得割額が軽減されます。

『基礎控除後の総所得金額』が 58 万円以下の人



5 割軽減

※ 年金収入のみの場合、年金収入 153 万円から 211 万円までの被保険者が該当します。



● 被用者保険の被扶養者であった人の軽減

後期高齢者医療制度に加入する前日において、被用者保険 (健康保険組合や共済組合など) の被扶養者であった人は、均等割額が **9 割軽減 (年額 5,100 円)** されるほか、所得割が賦課されません。

春は、大気汚染物質が多くなる季節です

注意喚起や注意報発令時には、 情報を入手し、備えましょう

大気汚染物質の注意喚起や注意報が発令された場合は、ホームページや伊万里ケーブルテレビのデータ放送、西海テレビのL字放送、各公民館を通じてお知らせします。情報をキャッチして、次のような対応をとりましょう。



● 問合先 環境課生活環境係 ☎ ☎ 2144

PM2.5

(微小粒子状物質)

佐賀県では、PM2.5の濃度が1日平均1立方メートルあたり70マイクログラムを超えると予想される場合、午前7時30分と午後0時30分を目途に注意喚起をします。

● 注意喚起時の対応

▽ 不要な外出や、屋外での長時間の激しい運動をできるだけ減らしましょう。

▽ 屋内でも換気や窓の開閉を必要最小限にしましょう。

▽ 呼吸器系や循環器系疾患のある人や小児、高齢者などは、健康への影響が出やすい傾向にあるため、体調に応じてより慎重に行動しましょう。

光化学オキシダント

(光化学スモッグ)

光化学オキシダント(光化学スモッグ)は、春と秋の晴れた日に高濃度になる傾向があります。佐賀県では、光化学オキシダント濃度(1時間値)が0.12ピーピーエム以上になり、気象条件からみて大気汚染状況が継続すると認められたときに注意報を発令します。

● 注意報発令時の対応

▽ 屋外での激しい運動は自粛し、窓を閉めて外出は控えましょう。

▽ 目やのどに痛みが生じるなどの症状がある場合は、洗顔や洗眼、うがいをし、症状が回復しない場合は、医師の診察を受けましょう。

共生の地域づくりに活用します

二里公民館をバリアフリー化

このたび二里公民館に障害者トイレを設置しました。また、講堂の入り口には段差解消のためのスロープを取り付けるなど、誰もが利用しやすい施設として整備しました。これは、宝くじ助成金を活用したもので、地域のコミュニティの場として、さらに利用されることが期待されます。

財団法人自治総合センターでは、地域の実情に応じて、

住民にやさしいまちづくりを推進するための先導的な事業など

のために補助金を交付しています。今回のような助成事業は、宝くじの収入を財源としていて、宝くじの社会貢献や普及を広報することを目的に行われています。

● 問合先

生涯学習課生涯学習係

☎ ☎ 33186



↑二里公民館に新しく整備された障害者トイレ

立花地区の住民が参加

5月18日(日)は、佐賀県総合防災訓練

佐賀県では、県民の防災意識の高揚と、防災関係機関の協体制強化を図るため、地域住民の参加による防災訓練を、伊万里市、唐津市、有田町、玄海町で実施します。市では、立花地区の一部の住民(訓練に参加する人には、事前にお願ひしています)が、避難訓練に参加します。

なお、当日は、ヘリコプターの音が響くなど、ご迷惑をお

かけするかもしれませんが、ご了承ください。

● 日 時 5月18日(日)

午前8時～正午(予定)

● 場 所 立花小学校(グラウンド、体育館)

● 緊急速報メール訓練

訓練当日の午前9時～9時30分の間に、市内のNTTドコモ、au、ソフトバンクの携帯電話に、訓練用のメールを1回送信します。



着信音が鳴ることが不都合な場合は、この時間帯は電源をお切りください。なお、携帯電話による受信ができない機種や、事前の設定が必要な機種があります。不明な場合は、利用している携帯電話の会社に、確認してください。

● 問合先

総務課防災危機管理室

☎ ☎ 2123

交通事故(死)ゼロをめざす日 4月10日(木)

春の交通安全県民運動

4月6日(日)～15日(火)

問合先 総務課行政係 (☎2123)

●運動の重点

▽子どもと高齢者の交通事故防止

▽自転車の安全利用の推進
(特に、自転車安全利用五則の周知徹底)

▽全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底

▽飲酒運転の根絶

▽追突事故の防止

●『新入学児童を交通事故から守る日』通学指導キャンペーン

当日は、各小学校の通学路で、新入学児童の保護者や先生、交通安全指導員などの皆さんが、市内一斉に新1年生に通学指導を行います。皆さんもぜひ参加して、子どもたちを交通事故から守りましょう。

▽日時 4月11日(金)

午前7時～7時50分

▽内容 道路の正しい歩き方や道路横断の方法、あいさつなどの声かけ指導

●みつつの3運動

県内では、他の県と比べて追突事故が多く発生しています。追突事故防止のため、『みつつの3』運動を推進しましょう。



①『3秒間の車間距離』を保つ

②『3秒・30センチ』ルールの徹底

③『3分前の出発』
運転者は、予定より3分前に出発して心に余裕を持つようにしましょう。

●市内交通事故発生状況

(3月12日現在・前年同期比)

▽人身事故 99件(+9件)

▽死者 0人(±0人)

▽傷者 132人(+10人)

皆さんに愛されるホームページをめざして

市ホームページをリニューアルしました

リニューアルしました

市は、3月にホームページをリニューアルしました。

ここでは、現ホームページで、どのようなところが変わったかなどについて紹介します。皆さんぜひ利用してください。

●問合先 情報広報課情報推進係 (☎4315)

①メニュー構成の見直し

これまで市が発信してきたさまざまな情報を、大きく『ライフイベントメニュー』と『暮らしの便利帳』というメニューで整理をしました。

これは、人生の節目やさまざまな場面ごとに必要となる情報を見やすくし、整理をしたものです。

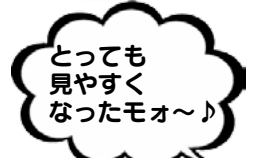
②さまざまな立場の人が閲覧できる支援機能を追加

漢字へのふりがな機能や色の変更機能、文字の拡大縮小機能、英語・韓国語・中国語の翻訳機能を追加しました。

これにより、子どもやお年寄り、外国人の皆さんなどが、より快適に利用することができるようになりました。

③スマートフォンに対応

昨今、急速に普及しているスマートフォン用の閲覧に対応しました。



→皆さんの使いやすいさなどを最優先に考え、変身したホームページに、まずは1度アクセスしてみてください。なお、システムの入れ替えに伴い、<http://www.city.imari.saga.jp/>から後のアドレスが変更になっています。

文部科学省が取り組みを高く評価

立花公民館が優良公民館

文部科学表彰を受賞

3月4日、文部科学省で行われた表彰式で、立花公民館が優良公民館文部科学大臣表彰を受賞しました。

これは、文部科学省が全国の公民館のうち、特に事業内容や方法などに工夫を凝らし、地域住民の学習活動に大きく貢献している公民館を、

毎年表彰しているもので、25年度は全国で61公民館が表彰されました。

立花公民館は、軽トラ朝市

など各種団体との連携した取り組みや、手作りの石窯を活用したピザ作り教室など、子どもと大人の交流事業を中心に、地域の連帯感を高めるた

めの伝統行事体験や環境美化活動体験に取り組んでいることなどが高い評価を得て、今回の受賞となりました。



↑手作り石窯の前で、受賞を喜ぶ立花公民館の職員の皆さん

2件の架空請求詐欺事件で被害を防止

伊万里警察署長が

2個人・2団体に感謝状贈呈

伊万里警察署は、2件の架空請求詐欺事件で被害を防止した、大川内郵便局と職員の高橋さおりさん、伊万里信用金庫と本店職員の内海留美さんに署長感謝状を贈りました。

高橋さんは、現金書留で50万円を送ろうとした男性に窓口で対応。宛先が警察から配られていた振り込み詐欺の関連住所と一致していることに気づき、上司とともに送金しないよう説得をしました。

内海さんは、女性が1千万

円近くの預金を解約に訪れた際に、金額が大きいので女性と顔見知りの同僚を呼び、事情を聴きました。そのとき、

「何かパンフレットが送られてきていませんか」などと質問したことなどが功を奏して、架空の貴金属購入を装った詐欺事件だということが判明しました。

県内では昨年、振り込み詐欺など特殊詐欺の被害



↑署長感謝状を贈られた2個人・2団体の皆さん。中央左が高橋さおりさん、中央右が内海留美さん

が41件発生し、被害額は1億150万円に上りました。

市長雑感

伊万里市長 塚部 芳和

桜の思い出

皆さんがこのコラムを読んでいるまさに今、桜が満開であることを願いつつ、筆をとっています。

さて皆さんは、桜にまつわる思い出はありますか。私は、玄海国定公園の一角である、波多津町にある高尾山の麓で生まれ育ちました。昭和30年代当時の新聞に掲載されていた県内の桜開花情報には、佐賀市の神野公園、鹿島市の旭ヶ丘公園とともに、高尾山公園が名を連ねていたことを、子ども心ながらに誇らしく思っていました。

さて、眼下に波静かなイロハ島を臨む高尾山公園には、土俵があります。花見シーズンになると、金毘羅神社に波多津女相撲が奉納され、浦地区の婦人たちが化粧まわしを締め、土俵入りから本番の取組まで、大相撲顔負けの迫力ある姿を披露し、大変賑わっていました。

時代の変遷とともに女相撲は姿を消し、高尾山の桜も老木となり、当時の勢いが失せたように感じますが、今は、住民が苗木を植えたり改植したりしている姿が

見られ、ホツとしています。

また、浦公民館では年に一回、3月29日から3日間、芝居の興業が行われていました。「富士川登一座」と「南條隆一座」が、毎年交互に30人程度の大所帯でやって来て、当時の田舎芝居とはいえ、歌や踊り、本格的な時代劇の芝居などを、夜の7時から11時過ぎまで演じていました。立派な舞台が用意され、300人以上の観客は、竹で仕切られた升席に家族単位で座り、楽しみながら観覧したものでした。

遅くまで芝居を楽しみ、夜も更けて家路を急いでいるとき、ふと見上げて目に入った、月明りで闇に浮かぶ高尾山の夜桜の景観は、50年以上経った今でも、まぶたに浮かびます。桜は、皆さんの身近なところにあって、咲いているものです。冬の寒さに耐え、満開になった桜に話し掛け、しばし桜へ思いを寄せるのも、まさに今かもしれない。『三日見ぬ間の桜』とはよく言ったもので、物事の状態はわずかな間にどんどんと変化していきます。気がつけばもう4月。いよいよ平成26年度という新しい年度の始まりです。